



SANWA REPORT
令和3年8月10日(火)開催

全社員会議

50期を迎えるにあたって

三和サービス / 林 正和 社長

49期の売上内訳を説明し、今期の見通しを示されました。昭和45年「ビル管法」施行後、昭和46年10月に林ビルサービスを創業し、三和サービスは令和3年11月で50期となります。次の25年(Next25)を見据えて経営する方針を示されました。

● Next25 とは

同じことの継続だけでは、会社は存続しません。私たちの仕事はサービス業であり、私たちのサービス業は、人と労働力の提供によりお客様に感動を与え喜んでいただくことです。今までお客様の声を聴き、時代の流れに乗り仕事を行ってきました。次の25年(Next25)を考えていかなくてはなりません。



● Next25 を見据えて

原点回帰してください。原点とは物事のはじまりや基、回帰とは一回り(いろいろな経験を)して元のところへ戻ることです。原点回帰は、50年前に戻るのではなく、今までの考え方を踏襲して新たなものにチャレンジして行かなくてはなりません。「サービスに直結する技術面やシステム面」は進化していかなくてはなりません。「会社の基本理念、お客様の声を聴く心」は、変えてはいけません。そして三和の社員であるという、責任と自覚と誇りを持って仕事をするということです。

Next25・原点回帰

- ① サービスに直結する技術面やシステム面を最新のものに。
- ② 会社の基本理念を理解し、お客様の声を聴く心(耳)を持つ。
- ③ 三和の社員である。

Next25・原点回帰を、一人ひとりが、それぞれの立場から何をすればよいか考えて行動してほしい。

特集の
社長インタビューも
ぜひ一読を!



サンワのWa!

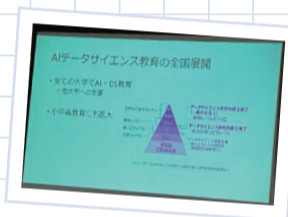
作/三宅よしこ No.11



DXとデータサイエンス

令和3年8月23日(月)第1回「DXデータとサイエンス」セミナーが、三和グループで開催されました。講師は、滋賀大学データサイエンス学系 齋藤邦彦教授。参加人数は13名、デジタル化やDX、クラウドサービスの利用、自動化の手法、アンケートの自動集計などを学びました。

三和グループは、DX(デジタルトランスフォーメーション)とSDGsに取組んでまいります。グループ従業員の皆さまも、他人事と思わず、自分事と捉えて出来ることから行動に移してください。



DXの豆知識

今さらだけど、キャッシュレス決済ってなに??



ペイペイなど、巷では当たり前聞くキャッシュレス決済。キャッシュレス決済とは「現金を使わずに支払いを済ませる方法」のこと。日本でも政府がキャッシュレス決済を推進していることもあり、最近では急速に普及しています。だけど、まだ使ったことがない仕組みがよくわからない!という方のために今回はスマートフォン決済(スマホ決済)について簡単に説明します。

スマホ決済の手順

①スマートフォンに決済アプリをダウンロード

【よく使われる決済アプリ】

- ・ペイペイ
- ・D払い
- ・auPAY
- ・楽天ペイ など



②決済アプリにお金をチャージ

【銀行口座または現金】

- ・銀行口座
- ・コンビニ
- ・クレジットカード など



③お店での支払い。

【決済アプリの決済画面を表示】

- ・QRコード
- ・バーコード



★キャッシュレス決済のメリット

- 現金の持ち合わせがなくても使える。また小銭を探す手間が無いのでスピーディーに精算ができる。
- 支払い履歴が残るので、どれだけ使ったが一目瞭然と管理がしやすい。
- 各社でキャンペーンやクーポンがある。

私もできる! SDGs

食品ロス～食べ物に、もったいないをもういちど～

最近テレビ等でよく耳にするSDGs(エスディージーズ)。日本語にすると「持続可能な開発目標」となります。SDGsには17の開発目標がありますが、今回は『目標12. つくる責任 つかう責任』に関わる食品ロスについて紹介します。

現在世界では毎年40億トンの食料が生産されていますが、その約3分の1にあたる13億トンが本来食べられるのに食品ロスとして廃棄されています。

生産や輸入が活発な先進国にばかりに食料が集中し、そこであまった食料が廃棄されてしまうため食料不足に悩む国との間で大きな格差が生じているのです。

日本では食べられるのに捨てられた食品ロスは600万トンになり、国民1人当たり毎日お茶碗一杯分のご飯を捨てていることとなります。

このまま食品ロスを放置すると、食料が世界の国々に行きわたらない状態が続き、更なる食料不足や貧困を助長してしまうことになりかねません。

このような実態を知ると食品ロスを減らすためには一人ひとりがこれまでの生活習慣を見直し変えていくことがSDGsへの貢献に繋がるとわかります。

食品ロスを減らすために自分たちにできることを始めてみましょう!

家庭でできる食品ロスの取り組み

- 買いすぎない
事前に欲しい商品をメモして、必要な物だけ買う商品選びを。
- 作りすぎない
料理は食べきれる量を考えて作り、残った場合は他の料理にリメイクするのも手。
- 手前取り
賞味期限の長いものを選びがちですが、すぐ使うのなら期限の早い商品を選ぶ。



● 2020年 最優秀作品賞 ●
労働安全衛生標語
指差し声出し危険予知
無事故で笑顔の快適職場

◆◆◆ 編集室から ◆◆◆

今回は、盛りだくさんの社内報となりました。みなさんSDGsご存じでしたか?今回はフードロスについて書いてみました。今日から出来るのが有ります。美しい地球のために未来の人類のために小さなことから始めましょう!今後もSDGsについては社内報で分かりやすく書きます。ニュース等でSDGsに興味をもってください。それから、来年3月株式会社三和サービスは創立50周年を迎えます。社内報に50年の歩みの特集する予定です。楽しみにしてくださいね。

三和グループ社内報 2021年 秋号(令和3年10月25日発行)
発行所 株式会社三和サービス
本社 / 〒500-8286 岐阜市西郷1丁目52番地
電話 / 058-273-5653(代)

Brightness

